



一年の計は元日にあり

福を呼び込むテト正月

ベトナム旧正月テト（Tết）の前は街中がやたらとざわざわする。と思えば、テト中はシーンとするほど、静かだったりする。実はそこには「幸せになりたい」ベトナムの人々が取っている行動がある。福を呼び込むための彼らのテト正月の過ごし方を覗いてみた。

撮影／大池直人、杉田憲昭 イラスト／ハタメグミ 取材・文／山村楽





正月までの 過ごし方

3~4週間前 大掃除 Lau Dọn

古いものは処分! 新品と入れ替える

旧正月テトを迎えるにあたって、まずやらなければならないのが家中の大掃除。「古い物を送り出して、新しい物を迎え入れる / Tổng Cựu Nghênh Tân (送旧迎新)」という考えから、要らないものは思い切って処分していく。

壊れたものは修理し、色のはげた壁や門も塗り直して気分一新。

先祖の祭壇も忘れずに。銅製の香炉などもびかびかに磨き上げる。



買い出し Mua Sắm

テト前はどこの市場もお店も大混雑。みんな、何を買っているの?

家族、特に子どもたちの衣類や靴を新調。女の子にはアオザイを買うことが多い。また、親族やお世話になった恩人、先生、上司への贈り物も欠かせない。ちまき (Bánh Chung、南部では Bánh Tét) や砂糖菓子 (Mứt) などを贈るのが一般的。そのため、ちまきと、らっきょうの漬物 (Dưa Củ Kiệu) を作るのに大忙し! しかし、最近は作るのが面倒で購入する人も増えている。



2週間前 神様を天へ見送る

お札を燃やし、鯉を川へ放つ習慣

旧暦の12月23日の昼頃に、お供え物を用意して家庭で大切な行事を行う。台所の神様 (Táo Quân / 火土君) はいつも台所にいて、その家庭を見守るとされ、この日は神様が1年の出来事を報告しに天へ昇る日と考えられている。鯉を川へ放つ習慣もある。

先祖の墓も大掃除

この世へ気持ち良く迎えるために

旧暦の23~30日、自宅同様に先祖の墓もきれいにする。大みそかに先祖をこの世に気持ち良く迎え入れ、ともにテトを祝うための風習。

1週間前 花を飾る

ベトナムの記念日や行事には欠かせない花。テトのお祝いでももちろん、とても大切な役割を果たしている。特に縁起が良いとされている花々はこの時期、街中で見かけることができる。



Hoa Mai ホアマイ

南部と中部でよく飾られる花。元旦に花びらが5枚のホアマイがたくさん咲けば、その1年は幸運に恵まれると言われている。また、花びらが6枚の花も幸運の印。ぜひ探してみたい。



Hoa Đào ホアダオ

ホアマイと同様、元旦に多くの花が咲けば幸せが訪れるとされる。逆に花が咲かなかったり、葉が枯れてしまうと縁起が悪いと考えられている。



Cây Quất カイクワット

金柑の木の丸く膨らんだ実は「幸福、円満」、木にふんだんに茂る緑色の葉は「禄、恵み」の象徴。この木を飾ると幸福な1年になるとされる。

Cây Nêu カイネウ

長さ5~6mにもおよぶ竹を玄関先に植える。竹の先には縁起物を付け、旧暦7日まで飾っておく。悪魔を祓うとして故事から生まれた風習(右記参照)で、近年縮小しつつあるものの、今でもなお各所で行われている。

大みそか 先祖と神様を迎える

家中をピカピカにして、果物を供える

大みそかの昼には先祖と台所の神様を迎え入れる祭事を行う。お供えの料理を並べた大きなお盆「マムコー / Mâm Cỗ」と、お供え用の果物を盛り合わせたお盆「マムグークワー / Mâm Ngũ Quả」を飾るのが一般的。また夜までにもう1度家を掃除し、ゴミを捨て、布団カバーやカーテンなども新調する。自分たちのからだもいつもより丹念に洗い、年の瀬に備える。



旧年の最後のお祈り

Cúng Giao Thừa

大みそかの行事

家族と夕食を囲む前に、先祖と神様に祈りをささげる。通常、家の祭壇と屋外で行われる。これが済めば、いよいよ新年へのカウントダウン。

深夜0時を回ったら...

Xuất Hành 出行

事前にその年の自分にとって縁起のよい方を調べ、年が明けるとともにその方向を向くと、自分や家族に幸運が訪れるとされる。

寺から枝を祭壇に

Hái Lộc 禄を採る

お寺で1年の幸運を祈った後、境内にある大きな木から小さな枝を折り取り、家に戻って祭壇に大切に供える。

元日までの来訪者で運が決まる

Xông Đất ソンダット

大みそかから元日の間で、最初に家に入ってくる人は、その家族の1年の運を決めると信じられている。家長と合う干支の人や事業などの成功者、明るい性格の持ち主の親戚や知人に自宅に来てもらうように頼むことがある。



正月の過ごし方

ベトナムには「元日は父親のテト、2日は母親のテト、3日は先生のテト／Mùng Một Tết Cha, Mùng Hai Tết Mẹ, Mùng Ba Tết Thầy」ということわざがある。正月三日の日のあるべき過ごし方が表されている。



元日

元日は父の実家へ

一族が父方の実家で一堂に会する。先祖に敬意を表して食事を供えた後、親族一同で食事をとる。玄関先で焚く線香は三が日、絶やすことなく燃やされ続ける。



2日

2日目は母の実家へ

テトは本来、先祖や祖父母に感謝の意を表し、家族の絆を深めるもの。母方の実家への訪問もまた、重要なものとされている。元日同様、テトの料理を食べて過ごす。



3日

3日目は先生の家へ

この日からは親族以外への訪問もよとされており、お世話になった恩師などを訪ねる。三が日を共に過ごした先祖は4日の早朝に天へ帰るため、この日の夕食は胃に優しい粥などを食べてからだを休める。



- ★健康のお祝い
Sức Khỏe Dồi Dào, Sống Lâu Trăm Tuổi (健康的で、百歳まで長生きするように)
- ★ビジネスをしている人へ
Làm ăn Phát Tài, Gặp Nhiều May Mắn (商売繁盛、多くの幸運に出会えますように)
Vạn Sự Như Ý, Tấn Tài Tấn Lộc (万事がうまく行き、商売繁盛しますように)
- ★友達へ
Tiền đầy Túi, Tình đầy Tim (お金がポケットを、恋が心を満たしますように)
Tiền Vô Như Nước, Tiền Ra Nhỏ Giọt (入金は水のように、出金はしずくのように)
=金運に恵まれますように)
- ★子どもや学生たちへ
Ăn Nhiều Chóng Lớn, Học Giỏi Chăm Ngoan (よく食べて、よく成長し、よく勉強ができるように)
Vâng Lời Cha Mẹ, Học Hành Tấn Tới (両親の話をよく聞き、学力が向上するように)

定番テトのお祝い言葉



新年最初の運だめし テトにはゲームが欠かせない!

日本の「すごろく」や「福笑い」のように、ここベトナムでも古くから家族や友人とゲームを楽しむ習慣がある。大の大人が大声をあげて悔しがったり、子どもたちが普段はできないちょっとした賭けごとに興奮したり、街中に楽しい笑い声が響く。家族や周囲の人との絆を深めるゲームは、テトになくはならないものなのだ。

家で遊ぶ

大人も子どももいっしょになって遊べるシンプルなゲームはどこ家庭でも大盛り上がり! スーパーなどで簡単に手に入るこれらのゲーム。1度挑戦してみては?



Bầu Cua Tôm Cá バウクアトムカー

ひょうたん (Bầu)、かに (Cua)、魚 (Cá)、鶏 (Gà)、エビ (Tôm)、シカ (Nai) が描いてあるボードゲーム。この6つが描かれた3つのサイコロを振り、どの絵が出るか事前に賭けるという完全に運頼みのゲーム。テトの時だけ子どもの参加も許される。



Cờ Cá Ngựa コーカーグア

4人で遊ぶすごろくに似たボードゲーム。サイコロを振って出た目の数だけ、4色に分れたコマを進めて行くという。サイコロを2つ使って遊ぶので12マスまで一気に進むこともあり得る、スリリングな遊び。

祭りで遊ぶ

近代化に伴い、伝統的な祭りの場での遊びは失われつつある。しかしその一方でベトナムならではの新春の遊びを残そうと、その価値を見直す動きも。地方ごとにいろいろな伝統的な遊びがあるが、どれも見ていだけでも楽しいものばかり。祭りで人だかりを見つけたら、ちょっと覗いてみよう。



Bịt Mắt Đập Niêu ビッターダップニョウ

北部の春祭りでよく遊ぶゲーム。日本のスイカ割りのように布で目を隠して、垂れ下がっている土鍋を叩く。

Ném Cờn ネムコン

ムオン (Mường) 族やターイ (Thai) 族などの祭りで実施。玉を地上高くに掲げられた輪に投げる。独身の男女がチームに別れて遊ぶことも多い。敗者は勝者に何か物をあげ、祭りの後にそれを取り戻しに相手の家に行くことになっている。この訪問が付き合いの始まりとなることもあり、「縁結びの遊び」とも考えられている。

Em Đi Trẩy Hội エムディチャイホイ

北部の春祭りで見られる、4枚の布でできた服 (Áo Tứ Thân) を着て、平らな形の帽子 (Nón Quai Thao) を被った女性をイメージした遊び。頭上に平らな籠をのせ、バランスを取りながら橋を渡る。

白や黒の服はダメ?
床を掃いたら貧乏になる?

テトに「やってはいけない9つのこと」

知らずに過ごす運を逃すかも? ベトナムで言い伝えられている「正月三が日にやってはいけないこと」は意外と多い。風習の違いを理解して、気持ちよくテトを迎えよう。

1. ほうきで床を掃いてはいけない!

ゴミを掃うと運やお金も家の外に出て行ってしまおうとされている。テトにほうきが盗まれるとその年のうちに泥棒に全財産を盗まれるという言い伝えもあり、南部では大みそかの夜にほうきを隠す習慣も。



2. 泣く、悲しむ、苦しむのはなし!

ケンカや苦悩など、気持ちが落ち込むことは不幸のはじまり。旧正月の間は前向きに幸せに過ごすことが大切。



3. 妊婦はよその家への訪問禁止!

妊婦は靈感が強く、もしよその家を訪問したらその家族が1年間、不幸に見舞われると考えられている。妊婦にとってはゆっくり休むチャンス?



4. 旧年に不幸があった人は 他家への訪問禁止!

前の年に身内に不幸があり、葬式を執り行った人は、他の家に不幸をもたらすとされ、訪問して新年を祝うことができないとされている。



5. 白や黒の服はタブー!

お葬式や地味さの象徴である白や黒の服は避けたい。その代わりに、幸運を表す赤や金を表す黄色、芽生えの象徴である緑などの鮮やかな色を身に付けることが好まれる。



6. 物を割るのは「別れ」のサイン!

年始に物を割ってしまうと1年中家族にケンカが絶えなくなり、不和になるとされている。割れ物の扱いは、いつも以上に慎重に扱うこと!



7. 元日は実家以外の 家へは行かない!

大みそか～元日は、1年の幸せを左右させる来訪者の言い伝え「ソンドット」(p.21)の考えから家族と一緒に過ごす。



8. 水と火を人にあげない!

水は「金運」、火は「幸運」を表すもの。年始にこれらを人に渡すと、自分の運を手放すことになるので要注意!



9. 借りたものは返さない!

物を人に返すのは、他人に自分の運をゆずることにつながると考えられている。できるだけ、借りたものは年末までに全部返すのがベター。



馬にあやかつて 新年を駆け抜けよう



8頭の馬が成功を呼ぶ

Mã Đáo Thành Công
馬到成功

ベトナムでは家のリビングや仕事部屋に、「Mã Đáo Thành Công / 馬到成功」と呼ばれる8頭の馬の絵が飾られている。昔、馬は戦いの移動手段として用いられており、旗をひらめかせて出兵。敵将を打ち取り勝ったとき、成功を知らせに戦馬が戻ってきたことから、馬が向かってくる絵は「成功」の象徴となった。よって、新しい商売を始めるなどの際に8頭の馬の絵を贈ると喜ばれる。

悪い者同士が集まる

Ngưu Tầm Ngưu
Mã Tầm Mã
牛尋牛、馬尋馬

牛は牛を探し求め、馬は馬を探し求める。ややネガティブな意味のことわざで、素行の悪い者は悪い者同士、結局は固まるということ。

幸福と不幸は予想のしようがない

Tái Ông Thất Mã,
Yên Tri Phi Phúc
塞翁失馬、焉知非福

漢の『淮南子』の「人間訓」にある話で、人間のあらゆることには幸(福・吉)と思えることが、のちに不幸(凶)となることがあり、またその逆もあるという「人間万事塞翁が馬」を意味する。安易に喜んだり、悲しむべきではないことを伝えている。

今年の干支である馬は、丈夫さやスピードの象徴であるだけでなく、ベトナムでは忠誠心や忍耐力を表すものと考えられている。馬にまつわる、漢語由来の表現を見てみよう。

周りをケアして、助け合う姿勢を

Một Con Ngựa Đâu,
Cả Tàu Bỏ Cỏ
一匹馬不走、十匹馬等着

1頭の馬が病気になる、囲いの中の全ての馬も心配で食べなくなるといった意味。これは馬の団結性を示し、馬のように私たち人間も家族や周りに関心を払い助け合うことを大事にしようという考え方が表されている。

思ったことを口にする人を指す
Thẳng Như Ruột Ngựa
心口如一

直訳すると、馬の腸のようにまっすぐだということ。率直で、悪意を持たずに考えたことをそのまま言う人のことを表す。

長年の付き合いで相手を理解

Đường Dài Hay Sức Ngựa
路遙知馬力

長い道を行けば、馬の力が分かる。人の性格や本当の実力は、長年付き合いの上で判断できるという意味。

